

## ご挨拶

11月は世界会議ヨハネスブルグ大会が開催されました。新たな試みとして、大阪は堺市においてジャパンナイトを開催させて頂きました。久しぶりに多くの皆様と近い距離でコミュニケーションをとる事ができ、その時の興奮は今でも鮮明に残っています。素晴らしい設えをして頂きました皆様、JCI堺高石の皆様、大変お世話になりました。

その後の総会においてはJCIの次年度の組織体が発表されました。梶原副会頭は財政顧問として、下山田国際グループ担当常任理事は副会頭として、曾根監事はJCI基金委員会委員長として、また本年度活動を共にしてきたメンバーが多く国際の舞台に出ていきます。また、アワードではJCI東京の事業が2つの部門において表彰されました。議案共有の「gian pocket」にアップロードしていますので、是非とも世界に認められた事業の議案を多くの方にご覧頂ければと思います。JCI東京の皆様、誠におめでとうございます。

そして何より、この不確実な世の中を走り切った小嶋JCI会頭、佐々木JCI副会頭の表情は、とても清々しく、感動しました。本当にお疲れ様でございました。次年度活動をされる皆様におかれましては、どのような情勢になるかわかりませんが、歩みを止める事なく走り切って頂きたいと思います。

さて、月初めの私からのメッセージも最後となりました。1月から新型コロナウイルスの感染状況、国や自治体からの各種宣言や蔓延防止措置等に合わせて、我々Jayceeがなすべき事は何か、私自身も自問自答しながら筆を取らせて頂きました。その混乱も世界的にはまだ予断を許しませんが、日本においては一つの収束の兆しを見せています。

パナソニックの創業者、松下幸之助氏の言葉に次のような文言があります。「勤勉は喜びを生み、信用を生み、そして富を生む」。これをJCに当てはめるとどうなるでしょうか。運動による成果は急に出るものではありません。1つずつの段階を丁寧に積み重ねるからこそ、最終的に得たいと思う何かを手に入れる事ができるのではないのでしょうか。おそらくこれはJCを卒業した後も同じ事が言えると思います。私も含めて卒業される方もいらっしゃると思いますが、これからも引き続き、一つひとつのアクションは小さいかもしれませんが、今できる事、やらなければならない事を見極め、アイデアを膨らませて、アクションを起こし続けて頂ければ幸いです。

2021年度、12月31日の最終最後までどうぞよろしくお願い致します。

**Idea&Action 光を放つ起点となろう！**

公益社団法人 日本青年会議所

第70代会頭 野並 晃